

レジュメ 3

基本コンセプトを立案するアイデア発想ワークショップ

実施日時・場所

日時: 2015年4月27日(月) 10:00~12:00 / 場所: 第一会議室

本ワークショップの目的

1. 前節の顧客価値をもとに、新たな商品の具体的なアイデアを数多く出す
2. その中から1つに絞り込み、「5W2H+期待」で大枠となる基本コンセプトを立案する

出席者
(プロジェクトメンバー)

プロジェクトリーダー: 製造一課 ○○○○
 記録係: 総務課 ◇◇◇◇
 メンバー: 製造二課 ■■■■、営業課 △△△△、
 調達課 ▽▽▽▽、経理課 ●●●●

前回からの宿題

今回のアイデア発想のテーマとして、最近買った商品を10個程度思い出し、発表できるようにしておくこと。また、できれば「なぜそれを買ったのか」も説明できるようにしておくこと。
 ※新商品のアイテムが決まっている場合は、特にこの宿題は必要ない。

次回の宿題

新商品のライバル品を10個ずつ、写真やイラストで持参すること。

	時刻	所用時間	内容	説明
1	10:00	10分	前回の振り返りと今日の予定	前回の「振り返りシート」をもとにチーム全員で振り返る。 今日のワークショップについておおまかな流れの説明。
2	10:10	20分	書き出しワーク(個人)	「最近買ったもの10個に、自社技術を応用したらどんな商品ができるか」を考え、各々が黙々と「青の付箋」に書き出す。 ※既に関発する商品アイテムが決まっている場合は、既存の5W2Hを組み替えるなどの個人ワークから始めてよい。
3	10:30	20分	最初のアイデア発表	個々に考えたアイデアを、一言ずつコメントを添えながら発表していく。20分を人数で割って、1人あたりの時間を守り一巡する。 発表者以外は、他のメンバーから発表されるアイデアを聞いて、触発アイデアを期待する。触発され抽出したアイデアは「ピンクの付箋」に書き出す。
4	10:50	20分	触発による、新たな発想アイデアの発表	他メンバーからのアイデアに触発された新しいアイデアを順に発表する。その後、それらのアイデアをもとに、「新商品開発」の可能性について自由にディスカッションを行う。
6	11:10	10分	投票して絞り込む	全てのアイデアの中から1つに絞り込む。1人に5票で、良いと思うアイデアに投票する。感覚でよい。
6	11:20	20分	アイデアを深掘りする	選ばれたアイデアを具体化していく。「その新商品は何か、どんなものか」「誰が買うのか」「なぜそれを買うのか」「どこで使うものか」などを、「5W2H+期待」から具体的に記述していく。 それらを「一言でいうと」が何かを書き出そう。
7	11:40	10分	アイデアに名前を付ける	自由にネーミングのアイデアを交わす。商品名をつけることで、プロジェクトに具体性を持たせる。
8	11:50	10分	今日のまとめと次回の宿題	ホワイトボードや各自のメモをもとに、今日のワークショップの内容をまとめる。 次回予定の確認と次回のワークショップまでの宿題を確認。
9	12:00		終了	

本レジュメ作成

作成日: 2015年4月24日(月) / 作成者: 製造一課 ○○○○